

- ◎家畜伝染病の防疫対策にしっかりと取り組もう。  
◎公共牧場の有効活用と自給飼料の安定確保を進めよう。

### <要約>

- ◇ 乳用牛 ～牛群検定成績を活用した飼育管理の改善～  
乳成分は個体の栄養状態を表しているため、数値の変化に十分注意し、必要に応じて給与飼料を増減させる。また、乳質改善のために、個体別の体細胞数を把握し、原因特定に努める。
- ◇ 肉用牛 ～肥育牛の飼育管理～  
敷料の定期的な交換や給水器の掃除などを行い、肥育牛のストレス軽減に努める。また、ビタミンA欠乏症や尿石症には特に注意し、肥育期間中の血中ビタミンA濃度の把握や早期治療に努める。
- ◇ 豚 ～人工授精による効率的な肉豚の生産～  
人工授精を活用し、産肉性に優れ、斉一性の高い肉豚を生産するとともに、種雄豚の飼育頭数を減らすなどして生産コスト低減を図る。
- ◇ 鶏 ～青森シャモロックの飼育管理～  
飼育密度に注意し、必要な場合はデビーク（断嘴）を行う。また、病原菌の侵入を防ぐため、踏み込み消毒槽を設置し、特に鶏コクシジウム症予防のため、マニュアルに沿ったワクチン接種を行う。
- ◇ 草地・飼料作物 ～とうもろこしサイレージ及び稲発酵粗飼料の調製～  
1 とうもろこしサイレージ調製に当たっては、速やかかつ厳重に密封する。細断型ロールベラー体系では、ラップフィルムを8層巻きにする。  
2 稲ホールクroppサイレージを牧草収穫作業機によりロールベールサイレージとして調製する場合は、土砂の混入に注意し、予乾・反転作業は1回だけとする。



報道機関用提出資料	
担当課 担当者	畜産課 経営支援グループ 加藤技師
電話番号	直通 017-734-9496 内線 4816
報道監	農林水産部 油川次長 内線 3182